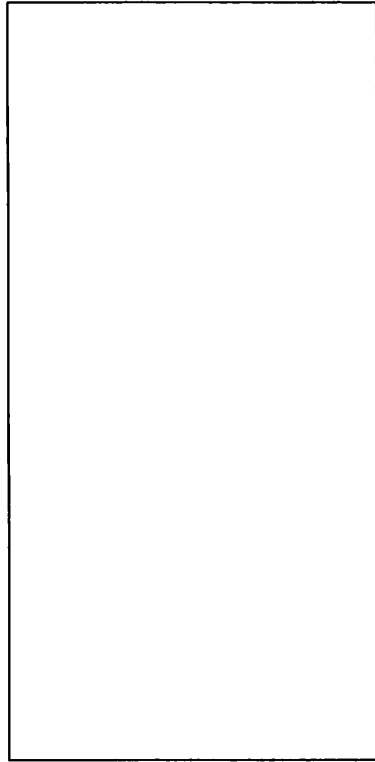


つみびと  
罪人

「罪」について、各自思いついたことをつぎの空白に書いてください。



「罪」ということでよく聞くのは、規則を守らなかつたから、いけないということですが、でも、ただ規則

を守らないといけないというだけでなく、自分のやるべきことをすすんでやらなかったことも罪として考えなければいけません。

自分さえよければいいんだということで、人のことを考えずに、自分の利益になることしか実行しなければ、それも罪になります。

悪いことさえしなければいいんだという考えは、自分のことしか考えられない人間を作り、人間がお互いどうし助け合っていくことの大切さを忘れてしまいう危険があります。これこそ、いちばんさげなげないけない罪ではないでしょうか。

## イエスさまは徴税人を受け入れる

神さまから受け入れられないと主張しています。

イエスさまの時代のファイリサイ派の人は、

このイエスさまのことばは、徴税人たちにとって、

自分たちは正しい人間であって、神さまの心にな

なぐさめのことばでした。生活のために徴税の仕事

つたものと考えていました。

をしていたので、みんなから罪人とみなされ、うしろ

それに対して、病人や、貧しい人たちや、徴税人

めたい気持でいつも生活していたからです。

たちは「罪人」としてきらわれていました。それは、

律法の規定を守らないという理由からでした。

イエスさまは、今日の福音のたとえ話をとおして、

罪人とみなされている徴税人こそが、神さまから受

け入れられているものであって、ファイサイ派の人は、

